

モニターレポート（7月報告）

【報告内容①】

夏休み前の安全利用点検に参加し、阿賀野川河川事務所の業務、河川の様子、洪水を防ぐ知恵などを教えて頂きました。
この点検での改善点においても、施設管理者、河川管理者と、それぞれ分担があることを知りました。

【事務所からのコメント】

安全利用点検は、ゴールデンウィーク前と夏休み前に、河川、海岸、ダムや砂防といった施設で実施されており、阿賀野川は高水敷の公園としての利用者が多いことから、公園管理者との合同点検として行っております。

河川内に設置されている施設についても、河川、道路や公園といったそれぞれの利用目的により占用されておりますので、修繕や改善が必要となった場合には、当該施設の管理者が行うこととなります。

【報告内容②】

阿賀野川左岸の下山地先から松浜橋までの道路で、交通量が少ないせいか、路上駐車している車が多数見られます。

また阿賀野川左岸の駐車場で、お弁当の空箱を見つけました。駐車場でお昼を食べた人が、そのまま捨てていくのだと思われます。

【事務所からのコメント】

阿賀野川左岸側の松浜橋から下流の路上駐車につきましては、河川管理に支障となるものや長期にわたるものについては、河川巡視等で対応を行うこととしておりますが、なかなか対応が難しいことと考えております。

また、ゴミの不法投棄の対策については、軽微なものは河川巡視で回収を行うとともに、頻度の高い箇所については、看板等の設置を行っております。

しかしながら、なかなか不法投棄が減らないのが現状で、対応に苦慮しているところではありますが、引き続き防止対策や啓発運動を行っていきたいと思います。

モニターレポート（7月報告）

【報告内容③】

籠尻川公園の入り口にある「犬の散歩禁止」の看板が、周辺の草が伸びて見えにくい状態でした。

また、公園内と川べりは目立ったゴミも無く全体的にきれいな状態でしたが、堤防法面にビニール袋入りのゴミが投棄されていました。

きょうがせ防災ステーション前から河川敷の農道を川べりまで歩いてみました。広い河川敷には、本川から水が入ってくる入り江のようなものがいたところがあり、終端では茶色のたまり水が異様な姿で目に入ってきました。離れた堤防の上から見るだけでは何かの不純物かと思いましたが、きちんと確認できて良かったです。

【事務所からのコメント】

籠尻川河川公園は阿賀野市が占有している施設となっており、胡桃山出張所管内となるため、胡桃山出張所経由で阿賀野市の方へ、報告にありました看板が見えない状況等をお伝えします。

茶色のたまり水についてですが、当所では、阿賀野川にかつてあった多様な自然環境を創出するための「自然再生事業」を行っており、その一つとして、阿賀野川の河川敷にかつて多く存在していたワンド(川の本流とつながっている入り江)を再生する工事を行っております。茶色になっているのは、この地区一帯の水の性質で、鉄分を多く含む地下水が地表に出ると酸化して茶色になると推察されております。

【報告内容④】

阿賀浦橋より上流方面に向かい、右岸側の川沿いを車で走ってみました。阿賀浦橋付近は川が大きなカーブを描いていて、“川”を見ているというより、“たくさんの森”と“河”の自然を見ているような気持ちになりました。

このような良い景観と、土手沿いには昔からの田畑や集落があり、緑と川を感じられる場所なのだから、もっと観光客の人に、新潟の川と共に歩んできた生活をPRしたり、もう既に行われているかもですが、小中学生に地元のことを知ってもらう一環として、郷土学習の題材に阿賀野川が使われると良いと感じました。

【事務所からのコメント】

阿賀浦橋周辺は阿賀野川が蛇行しており、左岸側に濘筋(平常時に水が流れる道筋)が極端に寄っており、水も豊富で緑も多いことから雄大な自然環境となっております。

地元の小中学生に阿賀野川の事を知ってもらうことは、川を色々な面で将来的に良くしていくためにもとても重要なことだと思います。こちらについては、総合学習の中で当事務所でも、出前講座や見学会などの取り組みを行っております。